

銚子川の水で 育てた米発売

紀北のNPO

紀北町でキャンプ場を運営する、NPO法人ふる

さと企画舎は、同町の銚子川流域で栽培された米を



「銚子川米」として発売した写真。

同川は透明度が高い清流として知られ、同川周辺ではこの水を水田に引き込み、米の栽培を行っている。

今回は低農薬で殺虫剤や消毒薬を使わずに米を栽培している、農業上村剛央さん(59)の米を「銚子川米」と名付け、キャンプ場の利用者などに販売する。上村さんによると、「カキの殻の粉末など、有機肥料をたっぷり施した。流れる水を使って育てるので、甘みが強く、おいしい米ができる」という。

同法人は売上金の一部は銚子川環境保全基金として、同川の環境保護活動な

どに充てる。1kg入り700円、1000袋限定。問

7・33・0077へ。い合わせは同法人(059